

花職向上の十式 模範的なすすめ方（一例）

www.flower-d.com/10siki/

ホームページなどで、花職向上の十式を公表しております。しかしどのように進めるべきか、不透明な部分があるかと思い、ここで、ほんの一例ではありますが「すすめ方」について表記することとします。もちろんこの手法を活用して「Check!」項目などで、どこまで履修を重ねたかをチェックしたり、順序を考えるのも良いでしょう。

この一例以外にもより良い進め方、あるいはよりスピーディーな進め方もあるかと思えます。また受講生のペースに合わせたものは、やはり講師1人1人が気配りを効かせる事が大切です。

（※ 約1日・5～6時間を目安のゼミナールや1DAYレッスンなどによるペースで記述しております。）

またテーマにより、数回の受講が望ましい場合や、1日で履修不可能で、数日に分けるテーマもあるでしょう。ほんの目安となることを願います。

2007/07/21 作成

回	テーマ・解説 など	Check!
(1)-1	【 零式 】 植物に慣れ親しんだ以降、次に移ります。 ある程度植物に慣れてから、一式以降に進みます。	
(1)-2	【 一式 】 リズミカルなバランス・配置のトレーニング 基本的には、基礎アレンジメントで行っていきます。	
(1)-3	【 二式 】 色彩調和＝様々な色彩調和について考えていきます。 素材のチョイスなどを基本に、組み合わせなどを習得	
(1)-4	【 七式 】 現象形態＝自然な挿し花（基本の現象形態のみ） 【 三式 】 3つのグループ分け＝共同形態	
(1)-5	【 三式 】 古典的ヴェゲタティブ 【 三式 】 ヴェゲタティブ イマジネーラーポイント	
(1)-6	【 三式 】 パラレル＝装飾的 【 三式 】 重点を高く＝ホッホシュテケン（閉じた輪郭）	
(1)-7	【 三式 】 パラレル＝植生的 【 三式 】 重点を高く＝ホッホシュテケン（開いた輪郭）	
(1)-8	【 三式 】 質感調和＝構造的・マスアレンジメント	
(1)-9	【 三式 】 重点を高く＝ホッホゲシュテクター シュトラウス（ゲブンデナー） 【 三式 】 重点を高く＝ホッホフリーセント（ピラミダーレまで）	
(1)-10	【 三式 】 クラシックフォーム 【 三式 】 モダンで装飾的な花嫁の花束（ブーケホルダ）	
(1)-11	【 三式 】 モダンで装飾的な花束（テクニク） 【 三式 】 低いクラシックフォーム	

花職向上の十式 模範的なすすめ方 (Step2)

www.flower-d.com/10siki/

2007/07/21 作成

回	テーマ・解説 など	Check!
(2)-1	【 四式 】 非対称造形＝密集と拡散 (パラレル 及び フリーセンデス・ファレンデス)	
(2)-2	【 六式 】 構成から学ぶ＝インアイナダー 【 六式 】 構成から学ぶ＝アウシュブライデント = ツーリュックフィーレント	
(2)-3	【 七式 】 自然風＝ナチュラルヒ 【 四式 】 非対称の挿し花	
(2)-4	【 六式 】 花束＝素材を利用して (ペーパー・枝など) < アンコ素材の活用まで >	
(2)-5	【 二式 】 動きの調和＝静止とリズム (モノフォルムまで) 【 五式 】 図形的(植物の動きから) 初級	
(2)-6	【 五式 】 図形的＝純化された動きから 【 五式 】 動きがモチーフ	
(2)-7	【 五式 】 自然界からの抽出＝ゲリュスト 【 五式 】 ヴィッケル (巻かれたもの)	
(2)-8	【 五式 】 自然界からの抽出＝フェアーヴォーベネス (3パターン以上) 【 五式 】 ウムヴォーベン	
(2)-9	【 六式 】 花束＝シュトラウス ミット ウムラームング 【 六式 】 花束＝シュトラウス ミット ウンターフォーム (ラウンド)	
(2)-10	【 六式 】 ブーケ＝非対称でモダンクラシック (初級から中級) (モダンなプロポーション まで)	
(2)-11	【 五式 】 生きた空間&死んだ空間 (空間を操る) フォーマル・リニアル キッセン構成 など	
(2)-12	【 七式 】 成長的＝ヴクスハフト (成長的なグループ分け)	
(2)-13	【 五式 】 自然界からの抽出＝ゲリュスト 【 五式 】 ヴィッケル (巻かれたもの)	
(2)-14	【 六式 】 構成から学ぶ＝解かれた構成 (花束風など) 【 六式 】 解かれた装飾的花嫁の花束 (歴史的発展で、二式の質感調和を引き合いに出し、発展系を考慮する)	
(2)-15	【 五式 】 ロッカー＝ユーバシュナイドゥンゲン 【 六式 】 解かれた花束 (アンコ素材の活用まで)	
(2)-16	【 五式 】 図形的＝形象的 装飾的 その他の図形	
(2)-17	【 六式 】 構成から学ぶ＝リーゲンデフォーム 【 六式 】 ブーケ＝フリーセント	
(2)-18	【 三式 】 ナチャリヒ・クラシッシュフォーム (自然なクラシック) 【 三式 】 ノイ・クラシッシュ (新しいクラシック)	
(2)-19	【 六式 】 花束＝シュトラウス ミット ウンターフォーム (ホリゾンタル から その他の表現まで ... マンシュッテ ・ ヴァーゼン =)	
(2)-20	【 六式 】 寄植＝ハンキングバスケット & 寄せ植え 【 四式 】 構図の流れがある対称造形	
(2)-21	【 三式 】 ノイ・クラシッシュ (低い～) 【 三式 】 クラシックフォームの新解釈	

花職向上の十式 模範的なすすめ方 (Step3)

www.flower-d.com/10siki/

2007/07/21 作成

回	テーマ・解説 など	Check!
(3)-1	【 二式 】 内面的調和＝季節の調和・表現の調和 自由なスタイルで、素材の取り合わせのみを考慮	
(3)-2	【 四式 】 非対称造形＝ヴェゲタティブ自由な形態 【 六式 】 構成から学ぶ＝モデルン・ナトゥアハフト	
(3)-3	【 四式 】 非対称＝非対称で装飾的 【 四式 】 対称＝構図の流れがあるアレンジメント	
(3)-4	【 六式 】 構成から学ぶ＝ネーベンアイナnder (パラレル・フォーメンション も参照)	
(3)-5	【 六式 】 アウフアイナnder (ユーバ =)	
(3)-6	【 六式 】 対称的な花嫁の花束 【 六式 】 非対称の花嫁の花束	
(3)-7	【 八式 】 幾何形体を手本として (型からテクニックまで～)	
(3)-8	【 八式 】 自然なグループ分け (本来の配置より)	
(3)-9	【 六式 】 構成から学ぶ＝導き戻す効果 【 六式 】 構成から学ぶ＝ゲーゲンアイナnder	
(3)-10	【 七式 】 素材の自然な扱い＝シュティック～アレンジメントまで	
(3)-11	【 七式 】 素材の自然な＝高貴な自然さ (ノイクラシッシュ)	
(3)-12	【 八式 】 季節の印象＝ヤーレスツァイト (夏)	
(3)-13	【 九式 】 対比＝シュティールブルッフ 【 九式 】 対比＝異化効果	
(3)-14	【 七式 】 死んだ自然＝静物画 【 九式 】 ノスタルジー・アレンジメント	
(3)-15	【 三式 】 クラシック＝ノイコンヴェンチオネル 【 九式 】 古典的クラシックフォームを个性的に (モダン＝クラシック)	
(3)-16	【 九式 】 テーマ＝立つ花束造形 (ビンデンデス・ビュンデルン パラレル＝シュトラウス) (シュティ＝シュトラウス スタンディング・シュトラウス)	
(3)-17	【 八式 】 クラシッシュ アルス フォアビルド 【 八式 】 アラージェマー	
(3)-18	【 三式 】 クランツ <花環> 【 八式 】 ウムクランツェン	
(3)-19	【 九式 】 表現力＝演出効果 (庭のシーン タブロー)	

花職向上の十式 模範的なすすめ方 (Step5)

www.flower-d.com/10siki/

2007/07/21 作成

回	テーマ・解説 など	Check!
(5)-1	【 九式 】 オブジェ=オブジェクトハフト ノイファンクティオナーレ(新機能)からの発展まで	
(5)-2	【 九式 】 テーマ=求心的と遠心的	
(5)-3	【 五式 】 図形的=幾何形体を利用したグラフィック	
(5)-4	【 九式 】 対比=人工と自然	
(5)-5	【 九式 】 対比=中央と周辺 <言葉による対比>	
(5)-6	【 九式 】 テーマ=ペアリング 【 九式 】 構成学より=添える・関連づける	
(5)-7	【 九式 】 テーマ=平面と立体	
(5)-8	【 九式 】 テーマ=バオム<樹木>	
(5)-9	【 九式 】 オブジェ=構成学より	
(5)-10	【 六式 】 コラージュ (システマティズム から オートマティズム まで)	
(5)-11	【 九式 】 素材からのインスピレーション 【 十式 】 フローラルアート=形象純化法 (見つけたもの)	
(5)-12	【 十式 】 フローラルアート=形象純化法 (オートマティズム から かたちづけたもの)	
(5)-13	【 十式 】 フローラルアート=非形象構成法	

花職向上委員会 www.flower-d.com/up/

花職向上の十式 www.flower-d.com/10siki/

NAME .